

3 関連業務

3-1 林木育種事業（特定林木育種事業・林木育種維持管理事業）

齋藤央嗣・越地 正・毛利敏夫・河野明子

1 次代検定林調査

(1) 定期調査：5年または10年ごとに成長調査（樹高・胸高直径）、材質調査（根曲がり・幹曲がり）、被害状況調査（病害虫、気象害等）を実施した。これらの現地調査は神奈川県森林組合連合会に委託実施した。

① 姫松検定林（関・神・9号）

調査地：相模原市緑区菅井

調査林分：スギ30年生（クローン増殖） 1ha

植栽形式：ランダム植栽（混植）

2 種子生産

県立21世紀の森地内、スギ・ヒノキ採種園において、林業用種子生産事業委託を行なった。スギ種子は全量を花粉の少ないスギとして、当センター内の花粉の少ないスギ採種園と県立21世紀の森の採種園の2箇所採取している。ヒノキ種子は平成16年度より花粉の少ない6系統と他の一般精英樹種子とに分けて県立21世紀の森の採種園で採取している。

(1) 林業用種子生産事業委託

採取場所：21世紀の森採種園（スギ、ヒノキ）、

委託先：神奈川県山林種苗協同組合

実施内容：①カメムシ対策：ヒノキ採種園でカメムシ防除のための袋掛けを実施した。

ヒノキ：0.5ha（1ブロック他 計679本 1,047枚設置）

②着花促進（ジベレリン処理）

スギ：0.5ha（Aブロック）、ヒノキ：0.5ha（2・4ブロック花粉対策102本）

③種子生産（球果採取、種子乾燥、種子精選）

スギ：0.5ha（Aブロック）、ヒノキ：0.5ha（1ブロック他）

(2) 花粉の少ないスギ採種園（七沢）での種子生産（0.2ha）

花粉の少ないスギ採種園において、ジベレリン処理による着花促進を行うとともに、10月に球果採取、種子乾燥、精選を行った。

(3) 種子生産量及び発芽率

①21世紀の森採種園において、花粉の少ないスギ種子は2.7kg（全量少花粉）、ヒノキ種子は、花粉の少ないヒノキ種子4.2kg、ヒノキ育種種子（混合）1.2kgを採取した。その発芽率は、花粉の少ないスギ種子3.6%、花粉の少ないヒノキ種子12.2%、育種ヒノキ種子5.3%であった。不作年であり生産量、発芽率ともに昨年より大幅に低下した。

②七沢の花粉の少ないスギ採種園では花粉の少ないスギ種子4.1kg（うち少花粉1.8kg）を採取した。その発芽率は3.8%（少花粉5.3%）であった。

(4) 種子配布および種子貯蔵

生産した種子は造林種苗生産用種子として環境農政局森林再生課に報告した。配布残の種子については冷蔵（-5℃）および冷凍（-30℃）貯蔵により保管している。

4 苗木養成

(1) 播種（水源林広葉樹苗木育成事業分を含む）

区分	樹種及び数量（2012年春）
針葉樹	少花粉スギ事業用：1.0m ² ・50g 播種、約1,000本養成、20本床替 少花粉ヒノキ事業用：2.0m ² ・50g 播種、約1,000本養成、12本床替 ミ（発芽試験）：350粒播種、27本養成 クロマツ(21)：1m ² 20g 播種 65本床替
広葉樹	ケヤキ（堂平）：1m ² 播種 23本床替、（大平）：1m ² 播種 426本床替 ケヤキ（山北）：1m ² 播種 93本床替 カツラ（堂平）：1m ² 播種 14本床替 シオジ（堂平）：1m ² 播種 118本床替

(2) さし木およびつぎ木（2012年春）

区分	さし木	つぎ木
針葉樹	スギ精英樹等：60本、活着率58.3% ヒノキ精英樹：613本、活着率43.9%	少花粉ヒノキ等66本、活着率21.1%
広葉樹	なし	

(3) 林木の遺伝資源保存

天然記念物等遺伝資源保存として引き続き山神の樹叢（ホルトノキ、国天）の現地の実生の育苗及び調査、有馬ハルニレ（県天）、康岳寺タイサンボク（市天）の維持管理を行った。またクローン増殖した箒スギ（国天）の種子によるスペースシャトル公式飛行記念品による苗を育苗し、山北町配布することとなった。

5 林木育種維持管理事業

七沢および田原の苗畑、スギの採種園および採穂園、ヒノキ採穂園、および精英樹クローン集植所について1.96ha内の除草、下草刈、薬剤散布等の維持管理作業を行った。

また、田原苗畑において下刈り作業を実施した。なお田原地区は、普通財産へ転換見込み。

6 花粉症対策品種採種園の造成

花粉症対策品種種苗の安定生産のため、既存採種園の改良により花粉症対策品種の採種園の造成を実施した。

(1) 県立21世紀の森採種園

- ・少花粉ヒノキ採種園（2ブロックの一部 0.2ha）

林野庁選抜花粉の少ないヒノキのみからなる採種園で、9クローン95本の植栽を実施した

6 広葉樹母樹の選抜（水源林広葉樹苗木育成事業）

丹沢山堂平地区の広葉樹母樹の調査により、以下の広葉樹母樹候補木を選抜した。

カツラ 県有林3号

シオジ 県有林5～8号

ブナ 県有林6～12号

3-2 試験林整備事業

谷脇 徹・高橋成二

1 広葉樹遺伝資源保存林の管理

遺伝資源保全保存林(ケヤキ林 0.16ha、湿性広葉樹林 0.17ha) で下刈りを 1 回実施した。

2 試験研究環境の整備

スギ・ヒノキ穿孔性害虫の成虫発生調査のため、網室(幅 1.8m、奥行き 3.6m、高さ 2m)

6 基の修繕作業を行った。